

地球変動適応科学研究機関（ICAS）設立 10 周年を記念しシンポジウムを開催しました

2016 年 10 月 15 日（土）、地球変動適応科学研究機関（ICAS）の設立 10 周年を記念したシンポジウム「茨大発 ^{イバダイ} 持続可能な未来へ —ICAS 10 年の軌跡と展望—」を水戸キャンパスで開催し、学内外から 217 名の来場者が集まりました。

2006 年 5 月に発足した ICAS では、地球温暖化に伴う「気候変動」に対する適応策や持続可能性について、各学部やセンターの教員・研究者たちが、分野の垣根を越えて協働しながら調査・研究・実践を行ってきました。その活動フィールドは国内に留まらず、海面上昇や干ばつといった現象が顕著な ASEAN 諸国やアジア太平洋地域など世界中に広がっており、それらの実績が、茨城大学が幹事校を務める日越大学気候変動プログラム（2017 年 9 月開始）にも繋がっています。また、東日本大震災や昨年に関東・東北豪雨に際しては、災害についての調査や支援活動、被災地における防災教育の実践を行うなど地元
に根ざした活動も積極的に行っています。

シンポジウムでは、こうした ICAS の 10 年の歩みを振り返るとともに、ゲストによる基調講演が行われました。国立環境研究所社会環境システム研究センターの亀山康子副センター長は、気候変動に対する国際的な取り組みについて、「炭素予算」といった考え方や環境に配慮しない企業に対する「ダイベストメント」（投資を引き上げること）の動きなど、最新の情報を紹介しました。また、京都大学防災研究所巨大災害研究センターの矢守克也センター長は、自然科学から得られる地震や津波の影響予測を避難などの行動に結びつけるための社会科学的なコミュニケーションについて、具体的な方策を示しながらその必要性を訴えました。

後半では、農業、生態系、防災・減災・地域連携、国際・海外問題、研究・教育ネットワークといったさまざまな切り口から、ICAS の今後の取り組みへの提言をまとめる参加型ワークショップを実施しました。

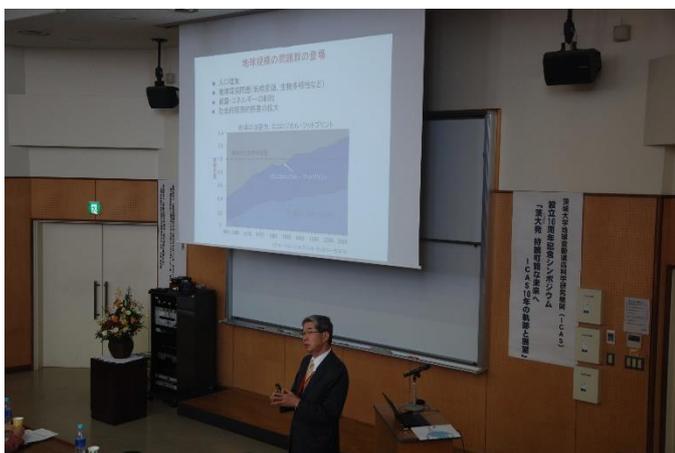
ICAS の初代機関長であり、当日講演も行った三村学長は、会場いっぱいの来場者にお礼を述べるとともに、「10 年前は新しかったサステナビリティや文理融合の取り組みが今では普通になっている。それはこの 10 年の成果ともいえる。これまでの実績をベースにしながら、大学が生むコンセプトを社会の中で実現することと、俯瞰的な視野と能力をもった人材の教育をしていきたい」と決意を述べました。



217 名がシンポジウムへ来場



京都大学防災研究所・矢守克也氏の講演の様子



三村信男学長の基調講演の様子



後半は分科会に分かれ参加型ワークショップを実施



国立環境研究所・亀山康子氏の講演の様子



ワークショップでは学生も積極的に発言



会場の外には、関連するポスターを展示



シンポジウム後には茨苑会館にて祝賀会を開催

茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) 設立10周年記念 シンポジウム

2016.10/15 日 開場12:30 参加無料
13:00-17:00
茨城大学 水戸キャンパス (人文学部講義棟10階敷設) 住所:茨城県水戸市文京2-1-1



13:00 開会挨拶 伊藤 哲司氏 (ICAS機関長)
13:10 基調講演
持続可能な未来と大学の役割
三村 信男氏 (茨城大学長)
温暖化国際交渉から考える
グローバル・サステイナビリティ
亀山 康子氏 (国立環境研究所社会環境システム研究センターセンター長)
文理工融合の防災・減災研究の現場から
矢守 克也氏 (茨城大学防災研究所大災害研究センター長)

14:45 休憩
15:00 ワークショップ
【持続可能な社会の実現に向けたICASの取り組みへの提言】
第1グループ:持続可能な農業 (農学部 藤野 敏典 准教授)
第2グループ:持続可能な生態系 (理学部 及川 真平 准教授)
第3グループ:防災・減災・地域連携 (人文学部 伊藤 哲司 教授)
第4グループ:国際・海外問題 (工学部 藤田 謙久 准教授) 人文学部 白田 華子 准教授)
第5グループ:研究・教育ネットワーク (ICAS 田村 謙 准教授)
※15分セッションあり

16:20 全体討論
17:00 閉会
13:00-17:00 関連企画:ポスター展示「ICAS10年の軌跡」
17:30-19:30 ICAS記念祝賀会 (会場:茨城大学水戸キャンパス 会費:4,000円(学生1,000円))



主催:茨城大学
後援:茨城県、水戸市、茨城県、茨城県議会、文部科学省気候変動適応技術社会実装プログラム(SI-CAT)、一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)
お問い合わせ: 茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) ☎029-228-8787
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 | #icacagpm | icas@icas.ibaraki.ac.jp | http://www.icas.ibaraki.ac.jp/

茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) 設立10周年記念 シンポジウム

2016.10/15 日 開場12:30 参加無料
13:00-17:00
茨城大学 水戸キャンパス (人文学部講義棟10階敷設) 住所:茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS アキタ) は、本年、2006年の発足から10年を迎えます。ICASは、地球温暖化に伴う「気候変動」という人類が直面したこの新しい地球環境の変化に対する適応研究に続けています。発足当初からアジア太平洋地域の特性を生かした気候変動への適応力を入れたながら、学内の5つの学部 (工学部、理学部、農学部、人文学部、教育学部) に所属する教員・研究者がその研究分野の垣根を越えて、アジア太平洋地域の課題から地域・茨城の課題にまで着目し研究に取り組んできました。今回の設立10周年記念シンポジウムでは、これまでの10年の歩みと研究成果を振り返り、これからの未来の課題をどうとらえて、茨城という地域社会の視点とグローバルな地球社会の視点双方から見つめていきたいと考えています。

12:30-13:00 開場
13:00-13:10 開会・開会挨拶 伊藤哲司(ICAS機関長)
13:10-14:45 シンポジウム
三村 信男氏 茨城大学長
地球変動適応科学研究機関 初代機関長、地球環境工学、海洋工学を専門とする。1992年以降、国連の「気候変動」に関する政府間パネル (IPCC) に参加し、第2次-第5次評価報告書の執筆委員、総括主席報告書委員の任。内閣府の総合科学技術会議、外務省、国土交通省、文部科学省、環境省、気候変動などの委員を歴任。2014年9月より現職。
亀山 康子氏 国立環境研究所社会環境システム研究センターセンター長
1990年東京大学教育学部専攻。専門は国際政治学。1992年環境庁国立環境研究所(当時)入局。地球温暖化問題をはじめとする地球環境問題へのグローバルな対応を国際環境法の観点で研究。2011-2015年東京大学大学院新領域創成科学研究科客員教授。主な著書に「新・地球環境政策」(朝日新聞) 2010年等。
矢守 克也氏 京都大学防災研究所大災害研究センターセンター長
京都大学防災研究所大災害研究センター長・教授、博士(人間科学)。防災研に所属する約100名のスタッフで唯一の専攻出府。工学、理学の専門家としても、文理工融合の防災・減災研究に力を注ぎ、主に「環境と防災」や「防災と大災害のリスクコミュニケーション」、「被災地デザイン」など。

15:00-16:20 ワークショップ
【持続可能な社会の実現に向けたICASの取り組みへの提言】
第1グループ:持続可能な農業
第2グループ:持続可能な生態系
第3グループ:防災・減災・地域連携
第4グループ:国際・海外問題
第5グループ:研究・教育ネットワーク
16:20-16:55 全体討論
16:55-17:00 閉会
13:00-17:00 関連企画
ポスター展示「ICAS10年の軌跡」
17:30-19:30 ICAS記念祝賀会
会場:茨城大学水戸キャンパス 会費:4,000円(学生1,000円)

水戸駅北口交通アクセス

茨城大学周辺のバス停

シンポジウム会場

茨城大学 水戸キャンパス (人文学部講義棟10階敷設)
住所:茨城県水戸市文京2-1-1

水戸駅北口7番のりば (乗車時間:約25分/330円)			水戸駅北口5番のりば (乗車時間:約25分/330円)			水戸駅北口3番のりば (乗車時間:約25分/330円)		
番号	行先	乗車場所	番号	行先	乗車場所	番号	行先	乗車場所
12	茨大教育学部	茨大教育学部前(赤山)	11	茨大防災研	茨大防災研前(赤山)	24	水戸駅	水戸駅前
12	茨大防災研	茨大防災研前(赤山)	11	茨大教育学部	茨大教育学部前(赤山)	24	茨大前	茨大前(赤山)
24	赤山駅前	茨大前	5	茨大前	茨大前(赤山)	27	茨大前	茨大前(赤山)

主催:茨城大学
後援:茨城県、水戸市、茨城県、茨城県議会、文部科学省気候変動適応技術社会実装プログラム(SI-CAT)、一般社団法人サステイナビリティ・サイエンス・コンソーシアム(SSC)
お問い合わせ: 茨城大学地球変動適応科学研究機関 (ICAS) ☎029-228-8787
〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 | #icacagpm | icas@icas.ibaraki.ac.jp | http://www.icas.ibaraki.ac.jp/